



柿崎直治

# 暖冬少雪に対する町内除雪業者への支援と中小企業暖冬少雪緊急融資対策について

## 質問

思いも寄らなかつた今冬の暖冬少雪による影響でスキー場を始めとした冬季観光関連の地元中小企業の業績が大きく落ち込んでいます。また、冬場観光の安心安全を担う町内除雪業者は待機中でも除雪車両の維持費や人件費などの固定費は支払わなければならず苦慮しているのが現状です。現行の出来高払い契約は出勤実績で支払われるため今冬のような少雪では出勤回数が極端に少なく収入が大幅に落ち込むことは必至です。県も長岡市も南魚沼市も既にこれらに対する救済策を早々に打ち出していますが、当町ではどのような支援策を考えているか伺います。

## 町長答弁

除雪業者への支援については当町の道路除排雪特定企業体から除雪待機料の検討要請の嘆願書の提出を受け、早急に対応を検討した結果、今年度は契約機種別に基本待機時間を設定し、それに満たない時間に対し

人件費相当分の待機料を支払うことを決定しました。中小企業暖冬少雪対策緊急融資対策につきましても隣接の南魚沼市の例もあり町としても情勢を注意深く監視しながら適切な対応を計ってまいりたいと思っております。金融機関とも協議して今の所新年度4月はじめに先決予算を組んで対応してゆくことが必要であると考えております。

## 質問

19年度当初予算の重点施策を実行するなかで町の進むべき方針をどのように考えて編成したか、その他町民満足を目指すプロジェクトの町民満足度調査、自立プラン作成などの施策を後期基本計画の中でどのように取り組んでゆくのか伺います。

## 町長答弁

19年度の重点施策については施政方針に述べた通りであります。今後税収が更に減収すると見込まれてくるなかで引き続き経費の削減には厳しく対応しながら

らも、行政サービスの低下にならないよう配慮しながら、あらゆる面において合併をしない自立をする湯沢町の強固な基礎作りを目指す方針であります。町民満足度調査につきましては職員接客態度が全般的に悪いといわれておりましたのでアンケート調査を実施しました所いろいろと厳しい意見を多くいただきましたので早速この結果をもとにリーダーを中心に課ごとに改善向上の目標を立て、取り組みを進めているところがあります。自立プランは湯沢町の総合計画の実施方法を示す大事な計画であり、町民の提案、意見を尊重し、段階的な実施や財源手当等を含め着手に向けた検討に入りたいと思っております。

## 町長答弁

この基金の設置は10年前ということですが基金設置時の経緯はわかりませんが美術館が必要だということは全国児童画展などを見させてもらっているなかでいろいろな皆さんの声が聞こえているのは承知しています。ただこの時代でありますからどれだけのお金をかけてということになりまして検討する必要があります。しかし将来的には全国児童画展の展示保管も必要になることから、今のところでは基金の廃止は考えておりません。

## 美術館建設基金の今後について

## 質問

平成10年に1億円の基金で設置された美術館建設基金はその後今日に至るまで基金への繰入れは行っておりません。10年の歳月が経過



出勤回数が少なかった今冬の町道除雪